ストラブ・グリップGUタイプ
銅管専用【50A～100A】

取扱説明書

取付け作業を行う前に、必ず『**安全上のご注意**』をお読みのうえ、『**施工手順書**』に従って、正しくご使用下さい。
なお、ご不明な点がございましたら当社ホームページまたは、下記の営業所にお問い合わせ下さい。

■**東京営業所**：〒103-0015　東京都中央区日本橋箱崎町 7-8
TEL. 03-6861-7411（代表）　FAX. 03-6861-7421

■**大阪営業所**：〒536-0022　大阪市城東区永田3-12-15
TEL. 06-6965-7235（代表）　FAX. 06-6965-7236

■**HPアドレス**：http://www.sb-coupling.co.jp/

安全上のご注意 【必ずお守り下さい】

この取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、人的危害や財産への損害を防止するため、遵守いただきたい事項を記載しております。

■絵記号の意味

絵記号	意味
⚠ 注意	注意（危険・警告を含む）を促す事項
⃠ 禁止	決しておこなってはいけない禁止事項
❗ 強制	必ずおこなっていただく強制事項

⚠ 警告 **記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。**

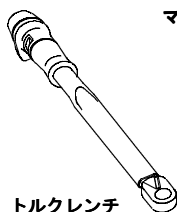
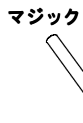
- **強制** 本体は構造上、鋭利な箇所がありますので必ず、作業用手袋等の保護具を着用し作業を行って下さい。
- **禁止** 製品を取り外す際、配管内の圧力が完全にゼロまで下がっていない場合は、絶対にボルトを緩めないで下さい。
- **強制** 流体が本製品の適用範囲内であることを確認して下さい。（流体の種類・流体温度：－30～80℃）
- **強制** 使用圧力が適用範囲内であることを確認して下さい。
- **強制** 埋設管に使用する場合は腐食防止のため、ポリエチレンスリーブやペトロラタム系の防食テープ等で必ず防食処置を行って下さい。
- **禁止** 使用者は構成部品の組ばらしを当社の許可無く行わないで下さい。

⚠ 注意 **記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。**

- **禁止** 直射日光の当たる場所やほこりが多い場所、および振動が激しい場所には保管・放置しないで下さい。
- **強制** 配管内の流体が凍結する恐れのある寒冷地域で使用する場合は、保温や循環または水抜き等の適切な処置を行って下さい。
- **注意** 本製品では管の熱伸縮は吸収できません。管の熱伸縮が想定される場合は、別途伸縮継手等を配置して下さい。
- **強制** ボルトの締め付けには必ずトルクレンチをご使用いただき、当社が規定するトルク値にて締め付けて下さい。（締め付け量の不足による漏洩やボルトが破断する原因になります）
- **注意** 腐食環境で使用する場合は、状況に応じて防食処置や定期的な確認を行って下さい。
- **強制** 地震や水撃等の外力によって本製品に過度な曲げモーメントが作用する恐れがある場合は、配管が許容値以上に曲がらないように強固な固定を施して下さい。
- ⃠ 本製品は一度使用した後に、取り外して他の配管に転用することは（使い回し）できません。ただし、設備稼働前の取り付け調整や試験施工後の取り付け直しは可能です。
- **注意** 正しく施工できていなかった等で施工のやり直しをする際は、必ず手で回せるぐらいまでボルトを緩めて下さい。無理にカップリングを回転させたり、グリップリングが喰い込んだまま取り外そうとすると、管や製品にダメージを与えてしまう場合があります。

施 工 手 順 書

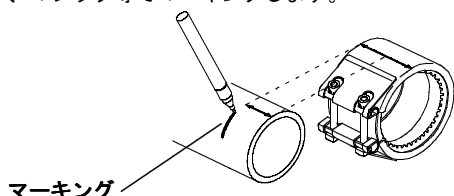
1 作 業 前 の 準 備

◆取付に必要な道具類

◆パイプの清掃

・切断時のバリや汚れを取り除きます。
・キズ等の凸凹はヤスリ等で滑らかにします。

2 マ ー キ ン グ 作 業

・パイプにマーキングをし、継手の取付位置を決めます。

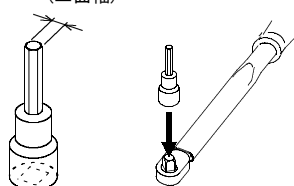
カップリングの全幅の１／２を差込み寸法として、パイプの端部から測り、マジック等でマーキングします。

※端部からマーキング位置までの寸法は右表の通りです。

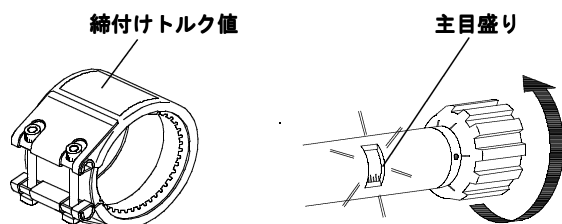
呼 び 径	寸法
５０	３８mm
６５	４８mm
８０	４６mm
１００	４８mm

3 トルクレンチのセット

◆六角ソケットの取付

・ソケットサイズは呼び径によって異なります。

呼 び 径	ソケットサイズ
５０～１００	６mm

◆トルク値の設定

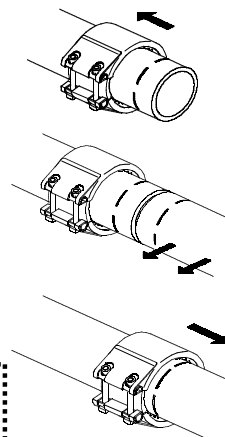
・本体のラベルに表示されている『締付けトルク値』とトルクレンチの主目盛りを合わせます。

※詳しくはトルクレンチに添付の取扱説明書をご覧下さい。

4 カップリングの配置

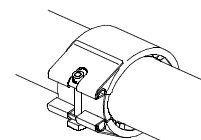
① 片側のパイプにカップリングを差し込みます。

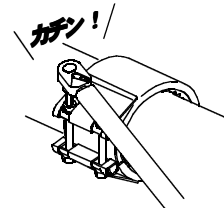
② もう一方のパイプを配置します。

③ マークした位置までカップリングを横移動させます。

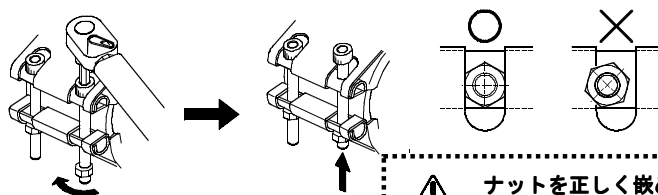
グリップリングの歯でパイプに傷が付かないように注意して下さい。

5 ボ ル ト の 締 付 け

【１本ボルトタイプ（５０Ａ）】

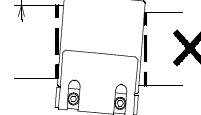
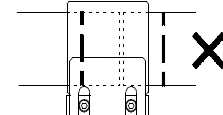
① トルクレンチでボルトを締め付けます。
② 設定トルクに達すると、トルクレンチが『カチン！』と合図し、**作業完了**です。

【２本ボルトタイプ（６５Ａ～１００Ａ）】

① トルクレンチでボルトを交互に締め付けます。目安としては、片側のボルトを３回転程度締め付けたらもう一方のボルトに移り、同様に締め込みます。この作業を繰り返します。
② 設定トルクに達すると、トルクレンチが『カチン！』と合図します。
③ もう片方も合図するまで締め込みます。
④ この作業を５～６回繰り返して、左右均等に締め付ければ**作業完了**です。

ボルトが片締めにならないように充分にご注意下さい。

締め付けの際の注意！

・６５Ａ～１００Ａは、ボルトの片締めを 行うと、もう一方のボルトが空回りする場合があります。（ナットが本体の切り欠き部から外れる為）
・空回りする側のナットを下方から押上げながら締め付けて下さい。

ナットを正しく嵌め込んで下さい。

6 施 工 の 確 認

・下図の様な場合は一度取外して、**取り付け直して下さい。**

【カップリングの傾き】　【取り付け位置のズレ】

カップリングが正しく施工されていないと、事故の原因になる場合があります。